

令和5年度 事業報告書

自 令和5年 4月 1日 ~ 至 令和6年 3月31日

1. 事業 児童福祉法による保育所

保育園名	保育園の所在地	定員	保育年齢	保育園々長
育和白鷺学園	大阪市東住吉区杭全3丁目9番17号	254	0～5才	岡田 百代
育和白鷺学園今林園	大阪市東住吉区今林2丁目11番6号	90	0～5才	北野 いくこ

2. 児童数 (延べ人数) «令和6年3月31日現在»

保育園名	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計
育和白鷺学園	151	473	533	504	509	516	2,686
育和白鷺学園今林園	85	182	167	192	176	192	994

3. 職員数 (延べ人数)

保育園名	施設長	保育士	調理員	看護師	作業療法士	栄養士	その他	計
育和白鷺学園	12名	447名 (内111名 非常勤職員)	52名 (内36名 非常勤)	12名	12名	11名	48名	594
育和白鷺学園今林園	12名	224名 (内55名 非常勤職員)	24名					260

4. 嘱託医師 内科：樋口 徹 / 歯科：樋口 治良 / 耳鼻咽喉科：康 勲 / 眼科：永江 康信

5. 業務の実施

(1) 通常の運営 『心身ともにたくましく、情操豊かな人間育成の基礎を築く』を目的として、年間カリキュラム・月間カリキュラム・週案の計画書に基づいて保育を行う。

希望者には、延長保育を行う。

延長保育事業	育和白鷺学園・育和白鷺学園今林園
乳児保育事業	育和白鷺学園・育和白鷺学園今林園
特別支援保育事業	育和白鷺学園・育和白鷺学園今林園
子育て支援事業	育和白鷺学園・育和白鷺学園今林園

(2) 年間行事

行事名	育和白鷺学園	育和白鷺学園今林園
1. 令和5年度入園式	なし	なし
2. 遠足	(5才児)6月21日 /11月22日 (3・4才児)11月22日	(5才児)6月21日 /11月22日 (3・4才児)11月22日
3. 消防(避難)訓練	月1回	月1回
4. お誕生会	月1回	月1回
5. 内科健診	<年2回>5月23日, 10月19日	<年2回>5月25日, 10月26日
6. 歯科健診	5月30日	6月1日
7. 眼科健診	6月20日	6月22日
8. 耳鼻科健診	6月12日・13日	6月14日
9. 尿検査	5月22日	5月17日
10. お泊り保育	10月13日・14日	10月13日・14日
11. 保育参観	(2才児)11/13・15・17・20・22・24 (3才児)10/5・6 (4才児)2/19・21 (5才児)2/6・5	1/24・26 2/20・26
12. 個人懇談会	(1才児)1/29~2/2 (2才児)1/22~26 (3才児)6/19~23 (4才児)6/12~16 (5才児)6/5~9	6月下旬~7月上旬
13. 七夕まつり	7月4日	7月10日から8月下旬
14. プール開き	7月3日から8月下旬	6月29日から8月下旬
15. 運動会	5月13日	5月13日
16. クリスマス会	12月22日	12月22日
17. 生活発表会	11月11日	11月11日
18. 八尾千秋さんによる人形劇	2月7日	2月8日
19. 卒園式	3月9日	3月9日
20. 終業日	3月22日	3月22日

☆会計：保育園の会計は、委託費及び市補助金をもって賄う。

法人の会計は、寄付金等で補う。

2023年度 事業報告書

社会福祉法人 育和白鷺学園

2023年度は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで様々な活動が行いやすくなり、行事もコロナ前完全復帰とまではいかずとも、ほぼ例年通りに行事を執り行うことができた。

コロナがもたらした影響はマイナス点ばかりではなく、職員にとってこれまで当たり前としてきた行事や保育自体を、再度原点に立ち返って確認し、変化に対応していく姿勢を自然と獲得することができたのではないかと思う。どうしても変化に乏しい保育業界において、外的要因ではあるが気づきをもたらしてくれるきっかけとなった。長年培ってきたものを見直して再構築するというプロセスは、キャリア保育士と若手保育士のディスカッションを生み出し、そのことが日々の保育の中での円滑なコミュニケーションにも波及しつつある。思いもよらないところで、職員間のコミュニケーション不足が課題として浮き彫りになり、そして問題解決に向けた取組みこそが子どもたちへの保育の質の向上をもたらしている。

さらに、2023年度は、引き続き保育士獲得に奔走した。毎年参加している私保連の就職フェスタや企業の就職フェアにも参加した。4月早々に就職フェアに参加して保育士早期獲得を図ったが、売り手市場の現状では「選ばれる保育所」になるために工夫を凝らしていけないといけない時代になってきたことを痛感した。ここ10年近く、保育士不足が課題としてあがってきているが、依然として改善していると実感することがなく、周囲の保育所も同様の課題を抱えている。見栄えでアピールすることに重点を置くよりも、職員の処遇をより良くすること、そしてそれが日々の保育の中で園児に対して誠実に関わっていくことにつながり、さらにそのことが保護者への信頼を生み出すことに直結することを実感している。このことが、当園が「選択される」最短ルートだと考える。

① 保育士不足

大阪市保育士宿舍借り上げ事業や新規採用保育士特別給付といった事業を積極的に利用し、従来からの処遇改善等加算Ⅰ及びⅡさらに処遇改善Ⅲを職員たちに配分し給与を底上げしたりしているが、他業種に比べてまだまだ見劣りする。職員のモチベーション向上のためにも、一律支給という選択について再検討する必要性を感じている。ただ、「正解」というものがない保育において査定基準を設けることがいかに困難なことであるか、思い知らされている。

さらに、両施設とも人件費の高騰で、年々苦しい状況である。積立金は両施設とも保持しているが、差し当たって今後のことを考えていかねばならない。しかしながら、子どもたちの安全で安心な保育は、保育士の処遇によって決定する。保育士が担っている役割や責任を、やりがいとして捉えられるような研修や話合いの場を定期的に持ち、保育士の心のケアに重点を置いて処遇改善を進めていかなければならない。有給休暇取得や育児休業の取りやすさといった福利厚生はもちろん、メンタルケアにおいても同様に重視していく必要がある。

どんな時代どんな制度になっても、保育の本質は、こどもの最善の利益の追求であることは不変である。保育士の処遇は子どもの安全と健康に直接関わってくるので、処遇の後退はできない。そのためにも職員と密にコミュニケーションをとり、今彼らが思うことを把握し、それに対して真摯に対応していくことを大切にしたいと思っている。

② 保育

育和白鷺学園は、2023年度4月より、認可定員を298名から254名に変更した。10年前までは300名超の園児を抱えていたが、ここ数年で園児数は徐々に減少傾向にあり、2023年度は認可定員に対して85%のスタートとなった。一方、育和白鷺学園今林園は数年前に90名の認可定員増へ変更してから、安定的な園児数を確

保できている。ただ、両施設に言えることだが、0才児の入所希望数が大幅に減少している。これは育児休業取得者が増えていることが大きな要因といえる。女性の社会的地位が確立されてきていると実感する一方で、1才児で復帰希望の保護者への受け皿が困難になっている状況がまたひとつの課題となってきている。

③ 行事

- ✓ 運動会
- ✓ 七夕まつり
- ✓ プール遊び（0才児保育室での沐浴、1,2,3才児は水遊び、4,5才児はプールあそび）
- ✓ 保健指導（手洗い指導、生活リズム、咳エチケット、プライベートゾーン、いのちのおはなし等）
- ✓ 遠足：神戸どうぶつ王国（3～5才児）、ビッグバン（3～5才児）、天王寺動物園（5才児）
- ✓ お泊り保育（5才児）：神戸しあわせの村
- ✓ 食育活動（アイスクリーム作り、野菜入りパンケーキ作り、流しそうめん、焼き芋、パフェ作り、ラーメン作り）
- ✓ 保育参観（2～5才児）
- ✓ 個人懇談会（1～5才児）
- ✓ ふれあいこども動物園（移動動物園）
- ✓ 生活発表会（4,5才児）
- ✓ クリスマス会
- ✓ やおちあきさんによる人形劇
- ✓ 節分
- ✓ 卒園式

④ 工事

【育和白鷺学園】

- ✓ ピロティ床塗装工事
- ✓ 1階保育室及び事務所の鍵取替工事
- ✓ 1階保育室電灯LEDへの取替工事
- ✓ 東面屋上防水改修工事

【育和白鷺学園今林園】

- ✓ 各所修繕工事

両園とも補修、取替工事が増加。特に育和白鷺学園は屋上の全面外壁補修、西側屋上防水張替え、玄関電気錠の取替、1階玄関補修工事等を予定している。雨漏りなどの影響も出てきているため、早急に取り掛からなければならぬと考えている。

育和白鷺学園今林園においては、全体的に老朽化が進んでいるため、優先順位をつけて順に補修する予定。

⑤ 健康

2023年度当初は、全国的に新型コロナウイルス感染症のみならず、インフルエンザを同様に流行した。当園でも例にもれず、園児の兄弟姉妹が通う近隣の小中学校、高校等による感染ルートもあり、園児や保護者、職員が感染した。ただ、従来からの看護師及び職員の配慮により、衛生管理及び予防においては徹底され、発症してもそれを封じ込める対策が功を奏して集団感染には至っていない。

⑥ 実習

2023年度は5養成校より実習生を受け入れた。城南女子短大から4名、大阪キリスト教短大から2名、大阪保育総合大学から4名、神戸松蔭女子学院から1名、保育専門学校から1名、そして畿央大学から2名、計14名である。実習時に採用についての声掛けを積極的に試みているが、すでに他園にも声をかけられていて就職が決まりつつあるという学生が多数。保育士獲得に必死なのはどこも同じであると痛感させられる。当園だからその魅力をいかに伝えられるか、それを実習でできる限り体感してもらいたい。

⑦ 研修

コロナ以前までとは言えないが、オンライン・実地を含め研修に参加できるようになった。

【園内研修】

- ✓ AED・心肺蘇生研修、誤嚥時の対応（日本赤十字指導員による）
- ✓ 災害時における役割について、消防訓練の指導（自衛消防訓練サポートセンター職員との立ち合いのもと）
- ✓ 大阪府保育所等事故防止研修(リモート研修)
- ✓ 絵本の読み方研修(スズキケンジ氏)
- ✓ 「発達や認知特性の理解から教育・保育を考える」(百瀬和夫氏)
- ✓ 巡回訪問指導員の助言のもと、支援が必要な子どもや、気になる子どもについて担任や主任・園長と情報共有する。
- ✓ 作業療法士の助言のもと、障がい児や気になる子どもについて担任や主任・園長と情報共有し、必要な支援や関係機関との連携を検討する。

【園外研修】

- ✓ キャリアアップ研修（令和6年度より処遇改善Ⅱを受給する資格に一定の基準が設けられたため正規保育士の大半が1つ以上の研修を受講）
- ✓ 私保連や大阪市、ちゃいるどネットの研修に参加

⑧ 活動

育和白鷺学園は、毎週1回4才児、5才児が交代で杭全西公園にてサッカーあそび。理科あそびと英語あそびを4, 5才児で実施。

育和白鷺学園今林園は、週1回3, 4, 5才児が年齢別に運動あそびに参加。4, 5才児対象で週1回の英語あそびを実施。

⑨ 地域との交流連携等

- ✓ 中学生職場体験学習受け入れ（大阪市立田辺中学校、大阪市立新巽中学校）
- ✓ 園庭開放
- ✓ 子育て相談
- ✓ 実習生受け入れ
- ✓ 小学校との意見交流会

⑩ 苦情

以前より意見箱を玄関に設置し、保護者の意見や苦情を受け入れている。